

編集 社会福祉法人おおぞら会 アクティビティセンターはばたけ

編集責任者 三浦 明雄

SSKP

はばたけだより

vol.95

〒181-0014 東京都三鷹市野崎3-17-9

TEL 0422-32-3234 FAX 0422-32-3274

URL <http://habatake.jp>



〈はばたけの班紹介〉クッキー班

アーモンドに、チョコチップ、ごま、紅茶...作業時間が始まると、厨房はいろいろな種類のクッキーやパウンドケーキの甘く香ばしい匂いに包まれます。

はばたけのお菓子職人は5名。バター練りの加減、材料の混ぜ方...ひとつひとつにコツと熟練技が求められます。「これでいいかな...」「今日のはうまく焼けた?」...ベテランも新人も味への追及心はみんな一緒。「おいしいね」の声がたくさん聞けるように、お互いに教え合いながら、たくさんの注文に日々奮闘中です!

待ちに待った
グループホーム！

つなぐなかまの家

桜の満開と時期を同じくして、おおぞら会初のグループホーム“つなぐなかまの家”が完成し、いよいよ入居者4名の新しい生活がスタートしました。

道のり...

「いつかはグループホームに...」「親元から離れて社会生活を...」と利用者や家族の声は年々高まっていました。はばたけという通所施設を核にして、障害のある人たちが住みなれた地域で安心して自分らしい生活を築いていけるよう事業展開をしていくことは、法人認可を取得する前の無認可作業所時代からの課題でもありました。しかし、資金集めや場所探しを行なう過程でさまざまな壁にぶつかり、実現まであと少しというところで断念せざるを得なくなるなどの紆余曲折があり、なかなか実現できずに時間が過ぎてしまいました。

そんな中、現実として“家族の高齢化”により緊急度も増し、利用者自身も年齢を重ねていく中で、いよいよ待たなしの状況となりました。そして切実な「なんとか生活の場を！」という声が原動力となり、今回の第1号の開設に至りました。

地域の中で...

“つなぐなかまの家”があるのは、三鷹市深大寺にある東野地区。はばたけから歩いて3分のこの地域は、通所や散歩でも毎日みんなが通る場所であり、はばたけの給食でもお世話になっている商店が並んでいます。はばたけにとってなじみのある恵まれた環境にグループホームができたというわけです。

そして大家さんの高嶺さんも、無認可時代からはばたけを支えてくれた方で、今回もはばたけの現状を知り、快く建物を貸してくださいました。商店街の一角のふとんやさんの店舗だったこの場所...、実は以前にもはばたけの活動の場として借りていたことがありました。そして今回、グループホームということで改装をすることになったのですが、「みんなが住みやすくなるなら」と高嶺さんも全面的にご協力してください、このステキな家が完成したのです。また、その当時から「みんな元気ね」「がんばってね」と声をかけて下さっていた東野商店街の方々や近隣の方々も「いい家ができたね」「おめでとうございます」とあたたかく受け入れてくださいました。

グループホームや施設の開設を目指す際、いちばん大変な作業のひとつが場所探しです。そこには、広さ・環境・価格など一般的な条件に加え、地域の理解・同意というものが求められてくるからです。

“障害者”へのイメージや“わからなさ”からくる誤解や偏見により、地域の理解を得ることはまだまだ難しく、苦難を強いられている例も多く聞く中で、今回のように笑顔で迎え入れていただいたことは、あらためて日々の関わりの大切さを実感するきっかけとなりました。

この地域とのつながりは、はばたけの30年の歩みの中で得た大きな財産であると思います。



赤い屋根が目印です！

「いらっしゃいませ！」

“つなぐなかまの家”という名まえは、はばたけの自治会でえられた、みんなの思いがつまった名まえです。「入居者がみんなて手をつないで、仲良く暮らしていけるように…」という願いをこめて、今回の入居者のひとりが考えてくれたものです。

“つなぐなかまの家”の入居者は4人。そして世話人が生活全般をサポートします。また、今後は近くの大学の学生さんたちにも関わってもらいながら、大きなサポートの輪を作って、入居者の生活を支えていきたいと思っています。

そんな“つなぐなかまの家”のドアを開けると「いらっしゃい~い！」の声が四重奏のように聞こえてきます。そして弾んだ声で一斉に新生活の様子を話してくれます。自分の部屋の家具の位置を直してみたり、洗濯機の使い方を一生懸命覚えたり、みんなにお茶をいれてあげたり...それぞれが生き生きと“自分の暮らし”を満喫しています。...みんなに伝えたいような楽しい暮らしがそこにはありません。まだ始まったばかりですが、4人の笑顔とそれをあたたかく見守る世話人の姿は、すでに“つなぐなかまの家”の名まえの通り...。入居者にとっても、また遊びに来た人もほっとできるような、そんなグループホームになりつつあります！

“わたしもこんな暮らしがしてみたい”“なかまの家のようなグループホームを増やしていきたい”...はばたけみんなの夢が、また大きくふくらみます！



“我が家”の夕食です

自立支援法のゆくえ...

自立支援法が4月から施行となり、10月からはさらに障害者施設の新しい事業体系への移行も始まるという流れの中、施設そのものが今、大きな岐路に立たされています。はばたけも例外ではなく、不安と動揺の波が襲ってきています。

利用料の発生...利用者がはばたけに通うのにお金がかかるようになります。さらに、はばたけの運営費も大きく減らされるため、食費・送迎費などの負担も利用者に強いなければならない状況になっています。

給食の見直し...通所施設の給食が任意事業となり、それにかかる国の補助金も全額カットされ、今までの常勤職員態勢での給食提供を見直さなければならなくなりました。利用者ひとりひとりに応じた食の取り組み、健康管理は障害のある人たちにとって大切なものです。しかしそれが難しくなっているのが現状です。

利用者負担増・サービスの絶対的不足と自治体格差・就労支援の未確立...どれをとっても自立とは程遠い“自立支援法”の現実。はばたけでも、今一度、見失ってはいけないものをしっかりと議論し、一丸となってこの波に立ち向かわなければならないと思っています。

はばたけの班紹介

～きらきら輝く仲間たち～



てすき班

仲間同士の連携がカギとなるてすき班。原料作り・紙すき・印刷など、どの工程においても丁寧さが求められます。

それぞれが担う作業に誇りを持ち、真剣に取り組んで初めて洗練された製品が生まれます。これからもお互いを認め合い高め合いながら、ぬくもりあるステキな製品をたくさん作っていきます！

クッキー班

厨房での立ち仕事は、午後になると足がパンパン！バターを混ぜる作業は、額に汗が出るほどの力仕事です。おかげで腕には立派な力こぶ・・・それでもお客さんの笑顔を励みに、毎日粉まみれになりながらクッキーやケーキを焼いています。

今年は、喫茶店「香草亭」がリニューアル予定！地域ナンバー1のお店をめざし、接客や新商品にも力を入れて頑張るぞ～！



ており班

それぞれの感性で糸の色や種類、織り方を選び、自由に表現していくさをり織り・・・

世界にひとつしかない作品が出来上がった時の喜びは、次の作品への原動力になります。また、仲間の作品や展覧会で刺激を受けることにより、そこからいろんなアイディアも生まれてきます。

今年も、自分を表現することをとことん楽しみながら、多くの人にておりの魅力を伝えていきたいです！



活動班

日々の生活をより豊かにいきいきと・・・をモットーに障がいの重い利用者で構成されている活動班。音楽療法や美術など、少しずつ午後のプログラムにも幅が出てきて、以前より自分を表現する機会がぐん！と増えました。

また日々の活動を通して、集団としてのまとまりも見えつつあります。これからも、いろんなことにチャレンジして、いろんなことを吸収して・・・仲間と支え合いながら一歩ずつ歩いていきます！



新利用者・新職員紹介コーナー

今年もはばたけに新利用者・職員が加わりました！4月3日(月)の出発式では「利用者・職員ともに力を合わせて頑張ろう！」と各班の紹介やオリジナルソング「大空へ」を歌いました。皆さん今年度も応援をよろしくをお願いします！

★利用者紹介★



たなかさんは昨年7月からはばたけに通っています。今回改めて自己紹介することになりました。穏やかな性格で、てすき作業や農作業に頑張っています。今年度もよろしくをお願いします！

てすき班の
たなかです。
昨年の7月にはばたけに
入りました。
どうぞよろしくお願
いします。

★たなかさん てすき班★



みやたさんは昨年末から実習としてはばたけに来ていましたが、今年度から正式に通うことになりました。落ち着いた性格で周りの雰囲気を和やかにしてくれます。クッキー作業は忙しいけど頑張ってくださいね！

四月からはばたけにかようこと
になりました。とてもうれし
いです。クッキー班にはいり
たいです。毎日たのしく
かよっています。
私の好きなことはお料理と
手芸です。これからどうぞ
よろしくお願いたします。

★みやたさん クッキー班★

★新職員紹介★



☆内田 絵里☆
～居宅支援～

以前より、居宅支援に携わりたいという思いが実り、縁あってこちらで働けることになりました。事業所の名前は「明日にはばたけ」の意味をこめてサポートステーション「あすは」。

皆様の大切なアドバイスをいただきながら、地域に根ざした場所となるよう頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくおねがいたします。



☆小沼 健一☆
～ており班～

4月から新しく、ており班を担当している小沼健一です。僕の名前もており班のメンバーの人達に覚えてもらい仲良くなれたので、他の班の人にも早く名前を覚えてもらい仲良くなりたいと思っています。よろしくお願ひします。



☆庄子 恵子☆
～てすき班～

今年度から、はばたけの仲間に入れていただいた庄子です。てすき班の仕事も少しずつ慣れてきていますが、まだまだ分からないことだらけなので皆様にいろいろと教えていただきながら頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひします。

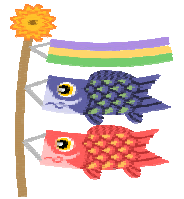
おおぞら会後援会ニュース

～新緑の後援会です！～

後援会新規ご入会・ご更新ありがとうございました。

【2005年度分】

2005年12月14日から2006年3月31日までの間に、
個人14名の方々からご入会・ご更新をいただきました。ありがとうございました。



【2006年度】

2006年4月1日～4月14日までの間に、個人39名の方々からご入会・ご更新をいただきました。ありがとうございました。

これからも、皆様の暖かいご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

後援会へご寄付ありがとうございました。（敬称略）

2005年12月14日から2006年4月14日までの間に、個人1名の方から後援会へのご寄付をいただきました。ご寄付は大切にに使わせていただきます。ありがとうございました。

後援会会費と同時に、社会福祉法人おおぞら会へのご寄付をご希望の方へ
（寄付金控除等に必要な「寄付金領収書」のご請求方法）

例年多くの皆様から「はばただより」に同封している**払込用紙（料金加入者負担）**によって、「後援会」の会費を頂いております。

この会費は一旦社会福祉法人とは別組織の「後援会」への収入となり、皆様の会費を合わせて一定時期に「社会福祉法人おおぞら会」への寄付とさせて頂いております。この「後援会経由での寄付」は、税法上の「寄付金控除」（個人の所得税）「損金算入」（法人税）の対象となりません。

一方、「社会福祉法人おおぞら会」へご寄付を戴くと**1万円を超える部分が税法上の寄付金控除の対象**となります。寄付金控除を受けるためには「**社会福祉法人おおぞら会**」の**寄付金領収書**が必要です。

払込用紙を使って「後援会会費」と同時に「社会福祉法人おおぞら会への寄付金」をご送金くださる方で、「社会福祉法人おおぞら会」の領収書をご希望の方は払込用紙通信欄に「社会福祉法人おおぞら会の領収書希望」とご記入下さい。

後日「社会福祉法人おおぞら会」より、まず「寄付金申込書」の用紙をお送りいたします。この「寄付金申込書」に捺印のうえご返送ください。折り返し「社会福祉法人おおぞら会」から「寄付金領収書」をお届けいたします。この「寄付金領収書」が、所得税・法人税の申告書添付資料となります。



活動日誌 1月5日(木)～4月7日(金)まで

1月	5(木) 初詣 書初め 20(金) 節目を祝う会 25(水) 総括会議 28(土) 評議員会・理事会 職員会議 13(金) 20(金) 27(金)	3(金) 連続講座(西原雄次郎氏) 18(土) 評議員会・理事会、 武蔵野東学園(チャレンジショップ)で販売開始 22(水) 嘱託医健診 24(金) 事業担当責任者会議 28(火) 利用料についての家族向け説明会 30(木) 後援会運営委員会 31(金) 退職職員へのありがとう会 職員会議 10(金)	
2月	18(土) 実践交流会(市民協働センター) 22(水) 方針会議 27(月) 理事会 職員会議 10(金) 24(金)	4月 2(日) つなぐなかまの家 お披露目会 3(月) 出発式、居宅事業チーム会議 職員会議 7(金)	
3月	1(水) 方針会議 2(木) ており展示会(食茶房むうぶ)、 グループホーム説明会		

来訪された方々

TKC・吉田様 ミュージックボランティア協会・内野様 (有)清健様 ノアノア様 調布市・渡部様
 健康センター・笠原様 アシストフジヤマケアサービス様 駅前図書館・一柳様 社会福祉法人 新の会様
 つばさ訪問看護ステーション様 NPO 電気保安協会様 ひまわり共同作業所・大沢様
 飯島意匠・飯島様 都西タイムズ・鬼原様 NPO 法人メイアイヘルプユー様 (株)相和建設・下山様
 (株)中央設計・長岡様 (株)大塚商会様 三鷹五中様 武蔵野東学園様 ピアいのかしら・加藤様

実習生の方々(社会福祉援助技術実習・介護等体験・養護学校進路実習)

日本大学・及川様

ボランティアの方々～いつもありがとうございます！

岡村様 榛澤様 後藤様 井上様 大野様 進藤様 稲吉様 青木様
 佐々治様 八田様 白瀬様 及川様

Information デザインフェスタ in 東京ビッグサイト

アジア最大級のアートイベントに、はばたけており班が出展します！！

プロ・アマ問わず、幅広い年齢層のクリエイターたちが世界各国から集結！
 アートやファッション、パフォーマンスなどあらゆるジャンルが勢揃い！
 きっと刺激的な出会いが待っているはず みなさんのご来場をお待ちしています！

日時 2006年5月20日(土)・21日(日) AM11:00～PM7:00

場所 東京ビッグサイト(西1234ホール・アトリウム・屋外)

JR「新宿駅」～りんかい線直通 JR 埼京線「国際展示場駅」下車+徒歩5分

JR「東京駅」～山の手線新橋駅にてゆりかもめに乗換「国際展示場駅」下車+徒歩3分

入場料<1日>: 1000円(当日券) 前売券(800円)はローソンチケット・チケットぴあにて販売

information

☆登録ヘルパーを募集しています!☆

5月より居宅支援事業を開所することになり、主に知的障害の方々を中心に
外出時の付き添いをしていただいたり、家事の手伝い等をしてくださるヘルパー
さんを募集しています。

知的障害の方々とともに、楽しい時間を過ごしませんか？

《時給》 ガイドヘルパー・ホームヘルパー1・2級

介護福祉士の資格をお持ちの方・・・1000円

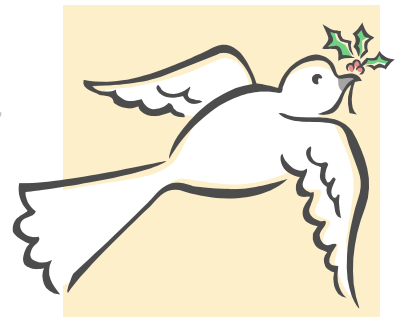
上記の資格をもっていない方・・・900円

交通費も含まます。

《時間》 月1～2回から、定期的に行える方まで、ご相談にのります。

仕事先は、三鷹市内が中心に、隣接市となります。

～どうぞお気軽にご連絡ください。
お待ちしております!～



お問い合わせはこちらまで
アクティビティセンターはばただけ内
サポートステーションあすは
担当 内田 絵里
TEL 0422-32-3287

[編集後記]

先日、近所の古本屋の入り口に貼ってある演奏会の案内が目にとまった。「フィンランド」「カンテレ」という2つの単語が妙に気になり、思い切って会場に足を運ぶことにした。「カンテレ」はフィンランドの伝統楽器で、日本の琴のような木製の弦楽器である。演奏が始まると、まるで自分が森の中にいるような感覚に包まれた。繊細で透き通った美しい音色に出会えたことに、ささやかな幸せを感じた。フィンランドはロシアを挟んで日本の隣の国・・・演奏者の話では、フィンランドの女性はたくましく、男性は大人しいという。何だかはばただけの職場のようで、更に親近感がわいてしまった。(深澤)

発行 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21		
企画・編集 アクティビティセンターはばただけ		
編集責任者	三浦 明雄	頒 価 50 円
編集委員長	伊東 暁子	
編集委員	卜部 禎生	
	深澤実希子	